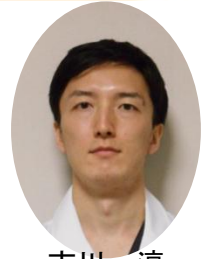


外科 マンスリーレター 2022.01

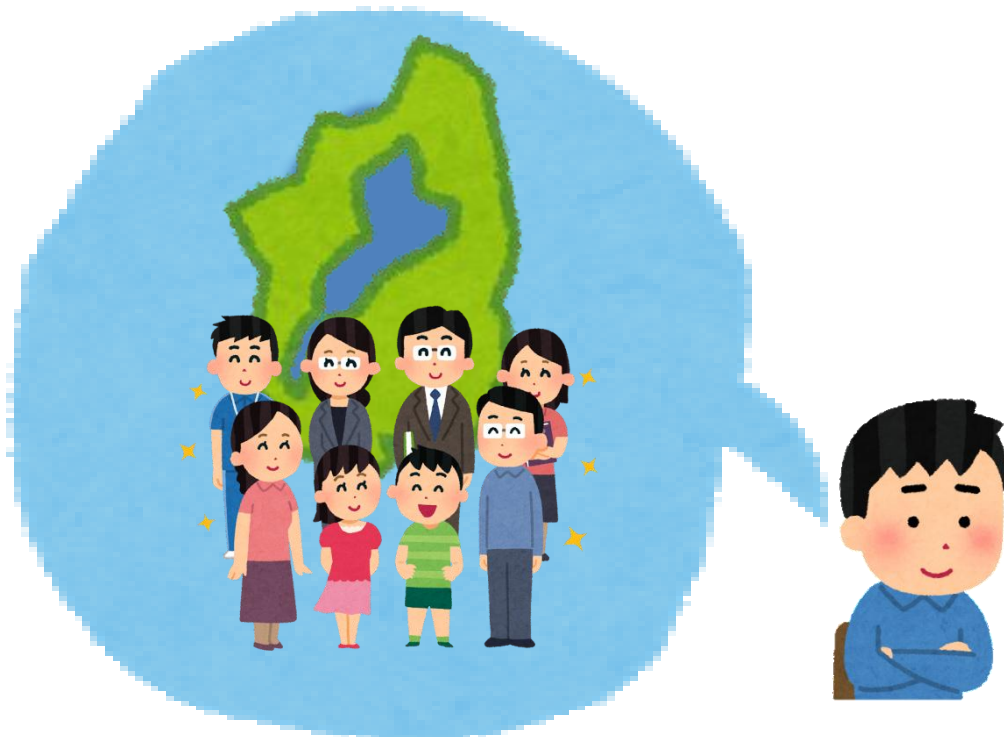


市川 淳

新年明けましておめでとうございます。
平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

市川です。

4月に福岡の病院から当科に赴任して早くも10ヶ月が経ちました。昨年は当科の指導医の先生方、病院の方々、そして地域の皆様に大変お世話になりました。新しい環境にも慣れ、引き続き地域の皆様により良い医療が提供できるように励んで行きたいと思っております。



私事ではありますが、先月ICLSコースのインストラクターの資格を取得するための講習会に参加してきました。ICLSとは Immediate Cardiac Life Support の頭文字をとった略語で、突然の心停止に出会った時の蘇生法を示します。ICLSコースは日本救急医学会が開催している医療従事者のための蘇生法のトレーニングコースのことです。ICLSはすべての医療者が身につけておくべき蘇生の基本事項であるため、現在では各領域の専門医の資格を取得するためにコースの受講が必須となっています。外科専門医も例外ではありません。インストラクターまでの取得は求められていませんが、いざという場面で正しい蘇生法を、自身を持って行えるようにするために取得しようと思い受講しました。インストラクターを取得し、ICLSの指導を行っていただけたらと思っています。



まだまだ若輩者で日々研鑽を積んでいく毎日です。知識、技術を磨き外科医として成長していくことはもちろん、ICLSなども含め広く医学について勉強を行い成長していきたいと思えます。皆様には引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。本年もどうぞよろしく願いいたします。